



楽しみがゆきわたる ～学びが楽しい学校～ 9月号

東小だより

東っ子

甲府市立東小学校
発行日 R3.9.27
発行者 校長 新田正彦
055(233)4468

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から

5月27日(木)に実施した全国学力・学習状況調査の結果について報告いたします。この調査は、6年生を対象とした、教科に関する調査(国語・算数)と生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の2種類で、①児童の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題の検証と改善を図る ②教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する ③学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる という3つの目的で実施されました。2年ぶりの実施です。本校の検査結果の概要と今後の取組等についてお知らせします。

学力調査から(県平均・全国平均と比較しての課題)

【国語】※平均点で見ると、全国や県とほぼ同じ。正答率の低かった問題も同じで、次のものになります。

△面ファスナー(合わせるのとくっついて、はがすときにベリベリ音がする、クツやカバンに使われているもの)について書かれた資料を読んで、面ファスナーの開発者が何をヒントに、どのような仕組みにしたかを記述する問題(「ヒントにしたもの」と「仕組み」を「文章」「仕組みを示した図」の2つから「制限された文字数で」という条件に合わせて書く)

学習指導要領 国語 5・6年〈思考力,判断力,表現力等〉C 読むこと(1)

ウ 目的に応じて文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけて文章にまとめること

△同じく面ファスナーの問題で、それが国際宇宙ステーションの中での使われ方について、「資料から言葉や文を取り上げて」「制限された文字数で」という条件に合わせて記述する問題

学習指導要領 国語 3・4年〈思考力,判断力,表現力等〉C 読むこと(1)

ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること

△「つみ重ねられています」の下線部を漢字に書き直す問題 正解は(積み) 第4学年配当漢字

学習指導要領 国語 3・4年〈知識,理解〉言葉の特徴,使い方 エ 配当漢字の読み書き

△「遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい」下線部が詳しくしている言葉を選ぶ問題 正解は(かたづける)

学習指導要領 国語 3・4年〈知識,理解〉言葉の特徴,使い方 カ

…修飾と被修飾の関係, …について理解すること

【算数】※平均点で見ると、全国や県とほぼ同じ。正答率の低かった問題も同じで、次のものになります。

△道のりを時間で割った商が表すもの示した文章を選ぶ問題

学習指導要領 算数 5年〈C 変化と関係〉(2) ア(ア)

速さを求める除法の式と商の意味を理解すること

△二次元表において、2つの質問の答えから、1つめに「はい」と答え2つめに「いいえ」と答えた人数が入る場所を選ぶ問題

学習指導要領 算数 4年〈D データの活用〉(1) ア(ア)

データを二次元の表に分類整理すること

△アンケートの結果から作成した帯グラフから割合のちがいが一番大きい項目を選び、それぞれの割合を書く問題

学習指導要領 算数 5年〈D データの活用〉(1) ア(ア)

帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できること

質問紙調査から（県・全国の状況と比較してよいところ）

〈基本的な生活習慣に関わること〉

○朝食を毎日食べている。

〈自分に関わること〉

○将来の夢や目標を持っている。

○自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている。

〈学習に関わること〉

○授業で自分の考えを発表するとき、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫した。

○課題の解決に向けて、授業では自分で考え、自分から取り組んだ。

○学習したことで、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげられている。

○国語では、目的に応じて文章を読み、考えをもったり、自分の考えを広げたりしている。

○算数の勉強が好き。算数で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

〈学校生活に関わること〉

○学級会での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

○自分の思っていることや感じていることを言葉で表すことができる。

○自分と違う意見について考えるのは楽しい。

○地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。

今後の取組について

調査終了後、全職員（授業を受け持たない職員は除く）が調査問題を解いてみて、今後どのような指導が必要になるか考えました。そこで出された意見も合わせて今後の取組について次のように考えました。

【国語】

○「読むこと」について次のことの指導を丁寧に行い、理解を深める。

1・2年「文章の中の重要な語や文を考えて選ぶこと」

3・4年「登場人物の気持ちなどについて叙述を基に考えること」「中心となる語や文を見つけて要約すること」

5・6年「目的に応じて文書と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」

○3・4年生から、修飾と被修飾の関係について取り上げる場面を増やして理解を深める。

○（「積み重ね」の正答率が低かったが、「面積や体積、かけ算の答えが積等」漢字自体は知っていても読みの違いで書けなかったと考えられることから）漢字学習では、音訓両方での使われ方を取り上げながら進める。

【算数】

○5年生以上で、速さなど、公式を用いてその答えが出せるようにするだけでなく、単位量あたりの大きさの意味について捉えられるようにする。

○4年生において、データを2つの観点から分類整理する方法（二次元表の活用）を丁寧に指導するとともに、その後の定着度を確認する。

○5年生において、円グラフや帯グラフの特徴と使い方について丁寧に指導するとともに、その後の定着度を確認する。

【共通して】

※問題自体が長文であり、短時間で読んで何を問われているのか理解しないとならない。また、論理的な文章になるため、読み慣れていないこともある。問題に向き合うことを諦めてしまわないように、普段から経験させていく必要がある。学年に応じて、長めの文章問題にも取り組む。

※資料の内容を読んで理解するだけでなく、図に書き込まれた説明や表、グラフ、数式なども読み取って必要な情報を選ぶ力を付けていく必要がある。

家庭において取り組んでいただきたいこと

・家庭学習の習慣をつけることが大切です。成長に応じて児童が自ら学習に取り組めるように励ましの声をかけてください。出来ているときにはそのことを褒めて自信につなげてください。

・家庭学習の時間を確保するためにも、テレビやゲーム、スマートフォン等の視聴や使用時間を減らすように、家庭内で話し合いをしてください。フィルタリングやペアレンタルコントロールを行うとともに、児童が行っているゲームに年齢制限等がないかどうかということも確認してください。

・規則正しい生活を送ることができるよう、「早寝早起き朝ごはん朝うんち」の健康四原則を守らせてください。

・児童の多くは、学習は大切で将来役に立つと思っています。そのためにも、学習に時間をかけることが大切だということを意識させてください。